



# 学校だより



令和5年度7月号  
発行令和5年7月3日  
大田区立徳持小学校

児童数646名

## 夢を育む感動体験を

校長

7月、文月を迎えました。教育活動で制限がなくなって1ヶ月余り、全校で集まることも習慣となりつつあります。やはり全児童、全教員で同じ場所を感じる体験は同じ目標に向かって達成感を感じられる素晴らしい体験だと思います。今年度は「夢を育む感動体験」をテーマに教職員一同学習活動や各行事に取り組んでおります。具体的な取組を紹介いたします。

### コミュニケーション力・表現力を育む取組

#### 【夢を育む感動体験①】（各機関と連携）（通年）

キャリア教育において保護者の方を始め、地域教育連絡協議会や学校支援地域本部など関係諸機関とのより深い連携を深め、様々な立場の方々からお話を聞いたり体験できたりする場をつくります。

#### 【夢を育む感動体験②】（徳持フェスタ）9月

各学級でアイデアを出し合いお店を出します。制作する喜び、人を楽しませる喜びの体験活動です。

#### 【夢を育む感動体験③】（演劇鑑賞教室）9月

全校児童対象に演劇鑑賞教室を計画しています。本校の体育館が劇場に変わります。演目は「裸の王様」、「杜子春」を予定しています。本物に触れる良い機会を期待しています。

### やさしい子供を育成するための取組

#### 【夢を育む感動体験④】（校内研究で）（通年）

児童同士のつながりを大切に、意見の違いや立場の違いを分かり、多様性を認めながら、関係性を築く児童を育てていきたいと考えます。今年度の校内研究は外国語の授業研究を中心に、「自分の考えや思いをもち、それらを対話で伝える喜びや理解する喜びを味わい学びを深められる子」がテーマです。教職員一同よい授業づくりを進めます。

#### 【夢を育む感動体験⑤】（道徳教育）（通年）

児童の内面の育成を重視し、道徳授業を中心に様々な教育活動の関連を図ります。6月より毎月の道徳授業の重点目標を全教員で同じ内容項目にし、「徳持ハートウィーク」（全校一斉道徳授業週間）を設定して実践しています。6月は「親切・思いやり」7月は「個性の伸長」をテーマに、全教員同士が共に歩むことを意識して取り組んでいます。

## 7月行事予定

日	曜	学校行事	sc
1	土		
2	日		
3	月	朝会 委員会活動 補習教室(3)	
4	火	保護者会(1~3)	○
5	水	集会 避難訓練 保護者会(4~6) 伊豆移動教室説明会(5)	
6	木		
7	金		○
8	土	土曜授業 3時間授業 安全指導 土曜補習教室(3~6)	
9	日		
10	月	朝会 クラブ活動	
11	火	きょうだいクラス遊び	○
12	水	集会 4時間授業 水道キャラバン(4)	
13	木	読み聞かせ 劇団四季「こころの劇場」(6)	
14	金		○
15	土		
16	日		
17	月	海の日	
18	火		
19	水	給食(終) 4時間授業 学校保健委員会	○
20	木	終業式 大掃除 4時間授業	
21	金	夏季休業日(始) 夏季水泳指導(6)	
22	土		
23	日		
24	月	夏季水泳指導(5)	
25	火	夏季水泳指導(4)	
26	水	夏季水泳指導(3)	
27	木	夏季水泳指導(2)	
28	金	夏季水泳指導(1)	
29	土		
30	日		
31	月		

## 8・9月行事予定

29	火		
30	水	全校登校日(8:30~9:30)	
31	木	夏季休業日(終)	
1	金	始業式 4時間授業	
2	土		
3	日		
4	月	朝会 給食(始) 委員会活動	
5	火	発育測定(4)	

( ) の表示は該当学年です。各学年だよりもご確認ください。

学校閉庁日は8月7日(月)から8月18日(金)です。

## とうぶ移動教室に行ってきました

6年

5月31日～6月1日にかけて、長野県東御市へ1泊2日の移動教室へ行ってきました。6年間で初めての移動教室に、子ども達はワクワクドキドキ、思い出に残る行事となりました。

1日目は金原ダムへのハイキングとキャンプファイヤー、2日目にはりんごの摘果体験を行いました。初めて見る植物や昆虫に興味津々の子、みんなで歌ったり踊ったり、汗だくで楽しむ子、夢中になってりんごの摘果を行う子、様々な表情を見ることができました。

集団生活、班での活動では、多くの課題も見つかりました。時間を守ること、後から使う人のことを考えること、友達への思いやりなど、これからも子ども達と共に考え、日々成長していきたいと思えます。



## 「今年度の校内研究について」

研究推進部

### 研究主題

「交流で互いの考えを認め合い、学び合うことのできる対話力の育成」  
～外国語活動を通して～

本校では、「対話的な学習」に対する具体的な手だてを考えた学習過程をつくり、それを教師が共通して指導を行うことで、主題にせまることができるだろうと考え、研究を進めています。

対話的な学習をする児童の姿とは、自分の考えや思いをもち、それらを対話で伝える喜びや理解する喜びを味わい学びを深められる子と捉えています。その姿を実現させるための手だてとして、心理的安全性の高い学級経営の工夫や話す・聞くを強化するための対話的活動の工夫を授業の中に取り入れていきます。

未来の日本を支える子供たち。職員一丸となって新たな時代に即した教育となるよう努めてまいります。

## 7月の生活目標

### 『暑さに負けないで元気に過ごそう』

生活指導部

暑い時期が近づくと心配になるのが熱中症です。熱中症は、梅雨明け直後などの急に暑くなり体が暑さに慣れていないために、気温や湿度が高いところで長時間過ごしすぎたり、体内のミネラルバランスが崩れたりすることにより起こります。

本校では、児童の健康観察、室温調整(暑さ指数 WBGT 測定)、こまめな水分補給、運動前の水分補給、帽子の着用等で熱中症対策を行っています。

さて、「暑熱順化」という言葉をご存じでしょうか。体が次第に暑さに慣れて強くなることです。本格的に暑くなる前に、軽く汗をかく運動や遊びを2週間程度続けることで、体温調整ができる体をつくることができます。目安は、ジョギングで15分、ウォーキング・サイクリングで30分程度の運動です。湯舟に入ることもよいそうです。文部科学省や厚生労働省等でも紹介されています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。